

令和7年度 第7学年 美術科 年間指導計画及び評価規準

思考 学期	月	字数	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	4	2	色彩の基本・仕組み （三原色と白で色作り）	・三原色と白で世界の色すべてを作ることを知り、水彩絵の具やパレットなどの道具の使い方を理解している。	・もやし、青空など日常にありふれた素材の美しさを、魅力的な色や形を観察し、感じとったイメージや特徴を生かして、造形的なよさや美しさを感じとり、見方や感じ方を広げることができる。（作品、定期テスト）	・絵の具を混色することでできる色の魅力を感じ取り、表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる学習活動を通して作品を制作できている。（作品、定期テスト）
	5	12	見つめると見えてくるもの 水彩絵の具で描く（もやし・海と空）	・筆の使い方や線の強弱、水加減などの絵の具の生かし方などを身につける。（作品、定期テスト）	・植物や青空の美しさなどを感じ取り、それぞれ適切な表眼することができる。（作品、定期テスト）	・意図に応じた透視図法の表現に興味をもって取り組み、遠近感を使って表すことができている。（作品、定期テスト）
	6	6	折って染める （折り染め和紙を使って表現する）	・空気遠近法について理解する	・折り方がもたらす効果や、色彩の特徴などを基に、最初は偶然からでも徐々に自分の意図した表現ができるようになる。	・折り染め模様を活かして、漢字との相性を考え、意図的に効果的に漢字を選択し、作品を制作する。
	7		（折り染め書道）	・遠近法にそって表現し、にじみ、ぼかしの技法を身につける。（作品、定期テスト）	・染めた和紙の色彩的な特徴を活かして、漢字一字をつかって折り染め書道として表現する （作品、定期テスト）	・意図に応じた透視図法の表現に興味をもって取り組み、遠近感を使って表すことができている。（作品、定期テスト）
				・紙の特性、折り方や、染め方の基本を知る。（作品、定期テスト）		
2	9	2	絵の中をよく見ると （描かれている人物や物事,、構図や色使いなどを伝え合いながら考える）	・構図や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。（ワークシート）	・造形的なよさや美しさを感じ取り、人物や情景、構図や色彩、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。（ワークシート）	・楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、人物や情景、構図や色彩、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動を通して、自分の考えをまとめることができる。（ワークシート）
	10	13	切り絵	・切り絵技法の特徴をしり、アートナイフなどの用具を適切にあつかい、正確に対象を切り取りとることができる。（作品、定期テスト）	・切り絵の元絵から感じ取った形や色彩の特徴や美しさなどを基に、全体と部分との関係などを考え、効果的な配色を工夫し、心豊かに表現することができる。（作品、定期テスト）	・元絵から自分なりに感じ取った美しさ、物語性を切り絵という技法の制約の中で自分なりに表現することができた。（作品、定期テスト）
	11					
	12					
3	1	10	化石発掘（食品トレーや、紙を使って表現する）	・恐竜の骨格を特徴を知り、造形的な特徴などを基に、力強さや美しさなどを全体のイメージで捉えることができる。（作品）	・紙や食品トレー（発泡スチロール）の加工方法などを身につけ、意図に応じて工夫し、制作の順序や配色など考え見通しをもって表すことができる。（作品）	・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近な材料の特徴や美しさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動を理解して取り組んでいる。（作品）
	2					
	3					